

事務事業名	リフレッシュセンター運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	市民サポート課			
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	市民サポートG	課長名	山田 祐子		
	施策名	〈20〉健康づくりの推進	担当者名	山田 祐子	電話番号	0854-74-0215 (内線) 4401		
	目的・対象	目的 市民 意図 心身ともに健康で暮らす。	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	老人福祉施設管理事業
	基本事業	〈057〉地域ぐるみで取り組む健康づくり		項目	中事業	中事業名	リフレッシュセンター運営事業	
目的・対象	目的 市民 意図 心身の健康に向けた取組ができる。							

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	温水プールを使った健康教室等により、市民による自主的な健康づくり活動を促進する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・ケアポートよしだの温水プールを活用した、自主的に体力づくり活動に取り組む環境を、社会福祉法人よしだ福祉会に委託して市民に提供する。 ・温泉泉源施設の管理
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・温水プールを利用したリフレッシュセンター運営事業による健康に対する知識の獲得と健康づくり活動の推進 ・浴槽ろ過装置の管理(R1より) ・温泉成分分析 ・給水用防錆材設置 ・温泉泉源流量計計測記録 ・R3年度豪雨災害による温泉水送湯管破損復旧工事	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 指導員による運動指導を受けて水中運動を行うことができる。市民は、この運動指導をきっかけとして、この施設を利用した自主的な運動習慣を身につける事ができる。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 利用者数	人	1,587	1,522	2,485	3,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
需用費 消耗品費	297千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
需用費 修繕費	89千円		県支出金	千円				
管理運営委託費	247千円		地方債	千円				
事業委託料	12,827千円		その他	千円				3,000
工事請負費	473千円		一般財源	千円	13,454	15,758	13,933	14,363
		事業費計		千円	13,454	15,758	13,933	17,363

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	水中運動の有効性は、旧吉田村で行ってきた「転倒予防事業」で確認され、「身体教育医学研究所うんなん」の開設後、同研究所の健康づくり事業・研究を通して雲南市全体へ波及している。また市および各種団体が主催する介護予防教室でも当センターでの水中運動を導入するなど活用されている。
② 事業実施するうえでの課題	令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の予防、豪雨による施設被災等のため入館に制限を設けざるを得ない状況であったため利用者数が令和元年度の約4割と大幅に減少したが、令和4年度には被災施設が復旧したこと、新型コロナウイルスによる利用制限が緩和されたことにより、6割強にまで回復している。効率的な運営に努めるよう促しているが、燃料費高騰や施設の老朽化による維持修繕費の負担が大きく、大幅な削減が出来ない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	令和2年度より法人独自のプール教室(一般向け・生き生きサロン向け)を新設して、新たな需要の掘り起こしに務めている。さらに令和5年5月の新型コロナウイルス感染症が2類から5類への変更を考慮し、一般利用者の増に向け周知を行う。また、利用者が継続して利用できるよう施設の維持管理を適切に行っていく。